

神奈川県立病院だより

基本理念 私たちは地域の皆様から信頼される病院づくりに努め常に新しく良質な医療の提供をします



第52号 目次

- | | |
|---------------------------------------|---|
| ○着任挨拶 2 | ○～病気を知ることから始めましょう！～
シリーズ・糖尿病 Part3-リハビリテーション |
| ○新職員を迎えて 4 | ◆『NHO PRESS～国立病院機構通信～』のご紹介 7 |
| ○春がやってきました！～重症心身障害児(者)病棟～ 5 | ○各科診療担当表 8 |

着任挨拶

事務部長 平田 敏昭



本年4月1日付にて事務部長として着任しました平田と申します。どうぞ、よろしくお願いいたします。

前任地は、東京都小平市にあります国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターです。国立精神・神経医療研究センターは、精神疾患、神経・筋疾患、発達障害を専門とする、まだ解決されていない多くの脳とこころの病気の原因解明、治療法の確立、モデル医療の開発などを行うナショナルセンターで、診療と研究の機能を兼ね備えた施設です。

今回、初めて神奈川県内の国立病院機構病院に赴任しましたが、赴任の際、満開の桜と間近に迫る雄大な自然や新緑を目にし、また、澄みきった空気がとてもすがすがしい気持ちにしてくれました。また、背後の富士山も未だ真っ白な雪をかぶり、感激しました。

赴任が決まりました折、家内と当院を訪れましたが、以前勤務のため居住したことのあります、アルプスが背後に聳える長野県松本市と非常によく環境が似ており、家内ともどもなつかしさを憶えました。

このような恵まれた自然環境の中にある神奈川病院は今、大きな課題であります病棟建替工事を進めており、平成26年に重症心身障害児（者）病棟が先行して完成し、今後は他の病棟の建替工事が予定されております。これらを一刻も早く実現させるためには、安定した経営を維持していくことが重要であります。そして、地域医療支援病院として地域から期待される、また、それに応えていく役割を着実に果たして行く必要があります。

今後とも、地域の皆様から信頼され、愛される病院となるよう職員の皆さんと力を合わせて、今までの経験を生かしつつ一生懸命努力していく所存でありますので、どうぞよろしくお願いいたします。

着任挨拶

副看護部長 森 美知子



4月1日付で副看護部長として着任致しました。私は、平成20年に閉校となった神奈川病院附属看護学校を卒業しました。その後関東信越地区の4施設に勤務しましたが、いつかは地元に戻りたいという希望が叶い、24年ぶりに看護師としてスタートを切った当院で勤務することになりました。秦野駅から病院へ向かう街並みは、商業施設や道路が新設された現在と看護学生時代の風景とが入り交じます。でも、鳥のさえずりや桜満開の風景など、豊かな自然環境は変わりありませんでした。

さて、神奈川病院は、急性期看護、回復期看護、在宅支援看護、重症心身障害児（者）看護、結核看護と看護領域は多岐にわたり、地域医療支援病院として地域医療にも貢献しています。看護師一人ひとりが、神奈川病院で働いていることを誇りにあたたい看護を実践していると感じています。そして、電子カルテの更新や病棟の建替計画が進み、患者さんや職員にとっても安心、安全でより快適な環境作りが意欲的に進められています。

「髪かたち つくろふごとに思うかな 己がこころのかたち いかにと」これは、私が3年生の実習最終日に受け持ち患者さんからいただいたことばです。このことばは、心の糧として今まで大切にしてきました。今後ますます進化していく神奈川病院で、看護の原点に立ち返り、皆さんの力をお借りしながら働いていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



着任挨拶



外科医長
前田 裕次

本年4月より当院外科に赴任致しました前田と申します。当院の外科は虫垂炎や胆石といった消化器良性疾患から胃癌・大腸癌といった消化器悪性疾患、また皮膚表在の良性疾患まで手術を中心に幅広く診療を行っております。さらに腹痛・便秘・下血といった消化器症状のある方についても当院の消化器内科と綿密に連携を取りながら診療にあたっております。

腹部の症状はもちろん、腹部以外でも“ちょっといつもと違うな”といった兆候がありましたら、お気軽にご相談下さい。



診療放射線技師長
佐藤 哲也

はじめまして。このたび4月1日付で東京医療センターから参りました診療放射線技師長の佐藤と申します。神奈川病院の放射線科で、地域の皆様が「安全・安心の放射線検査」を受けていただけるように努めてまいります。現代の医療において、放射線の検査は多くの疾患の診断に必要不可欠になっております。また、その半面「被ばく」といったリスクもあります。放射線を安全に管理しながら、患者様の有益を第一に考え、検査をおこなって行きたいと考えております。放射線に関するご疑問・ご質問などがありましたら、お気軽にお声掛けください。

地域の医療機関の先生方には、当院の放射線機器を、便利に簡単に有効活用していただけるよう環境を整え、地域医療の一翼を担っていければと考えております。放射線検査に対するご要望が御座いましたら何なりとお聞かせください。今後とも何卒宜しくお願いいたします。



臨床検査技師長
児玉 徳志

このたび4月1日付で霞ヶ浦医療センターから配置換で参りました臨床検査技師長の児玉と申します。

前施設は土浦市にあり、中心を流れる桜川沿いに咲く桜並木はお散歩やサイクリングをしながら楽しめるお花見スポットで有名でしたが、当院の正面玄関からの桜は素晴らしく綺麗で、昼休みにはスマホを持って写真を撮っています。

住まいは藤沢なのですが、神奈川県内の施設は20年前にお世話になった横浜病院(現：横浜医療センター)の3年間だけで、その後国立がんセンター、長野病院、精神・神経センター、霞ヶ浦医療センターを経て、ようやく戻って来られました。

検査科スタッフと共に力を合わせて、神奈川病院のために頑張りたいと思います。今後とも、よろしくお願いいたします。



理学療法士長
齋藤 克美

私は、10年前に神奈川病院に理学療法士長として赴任し、3年間勤務しておりました。その後は、箱根病院に4年間、西埼玉中央病院に3年間勤務してきました。当時はまだ、重症心身障害児(者)病棟も古い建物だったので、新病棟になった今、時代の移り変わりを感じています。当時からの職員の方々もいて声をかけて下さり、懐かしさやほっとする感じがします。

神奈川病院は、秦野駅から離れているのが難点ではありますが、少し歩けば、富士山も見え、緑豊かで自然に恵まれており、四季の移り変わりを感じます。

リハビリ科は一般病棟をはじめとして、地域包括ケア病棟や重症心身障害児(者)病棟の患者さんに大きく関わっており、医師をはじめとして、看護師、医療ソーシャルワーカーなど他の職種と連携を取りながら、病院に貢献していきたいと思っています。

また、これから新病棟建替に向けて、私も微力ながら、他のスタッフと力を合わせて頑張っていきたいと思っています。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

新職員を迎えて

この4月に新たに加わった職員歓迎会での一コマを紹介します。



医事のスタッフによる力作です。



今年も、療育のスタッフが歓迎ムードを華やかに演出。



お決まりですが、新採用者から一言ご挨拶をよろしく。



まあとりあえず、かんぱーい! (もちろんノンアルです)



院長先生 (中央) と新採用者が懇談中



先輩スタッフも新採用者の輪に入って仲良く懇談



最後は、新採用者の皆さんの晴れやかな笑顔で締め。よし、やるぞー!

少しでも患者様のお役に立てるよう、
みんなで力を合わせて精一杯頑張ります!



春がやってきました！！～重症心身障害児（者）病棟～



《お花見会》

当院の重症心身障害児（者）病棟は、現在7病棟と8病棟合わせて約110名の方が長期入院しております。幼児から成人まで幅広い年齢層の方々が生活しており、療育や日中活動（レクリエーション等）では季節行事の他、個別・集団活動など利用者一人ひとりに合わせた内容を提供しています。活動では、保護者会と協力して実施する行事もあります。



その中の一つである「お花見会」は毎年保護者会主催で開催されており、今年は3月29日に行われました。3月に入っても寒い日が続いていたこともあり、残念ながら当日は満開の桜の花を見ることはできませんでしたが、温かい雰囲気の中で会を行うことができました。保護者会の呼びかけで地元のちんどん屋が訪問し、病棟の中で利用者やご家族と一緒に春の曲や懐かしい歌を聴いて楽しみました。楽器の音が好きな方は太鼓や鐘の音を聴くと笑顔になり、声を出して喜んでいました。中にはご自身で鳴子や鈴を手を持ち、音楽に合わせて鳴らしている方もいました。他にも春の雰囲気を感じてもらえるように、桜の形をした色紙を貼って利用者やご家族と一緒に桜の木を作りました。今回はボランティアの方にも協力していただき、多くの利用者が参加して春の雰囲気を感じることができました。ご協力いただいた皆様にお礼申し上げます。



《療育・日中活動の様子》

4月に入ってようやく桜の花が咲き始め、春本番を迎えました。日中の気温が温かくなると利用者も外で過ごすことが出来るようになり、皆さんが大好きな散歩に行くことができる季節になりました。病院の敷地内には桜の木がたくさんあり、院内でも満開の桜を楽しむことができます。4月の療育や日中活動では「お花見散歩」を行いました。桜の木の下を歩いて桜を眺めたり、風の心地よさを感じたり、各々に自然を思いっきり感じ取っていました。



4月中旬より病棟の屋上から鯉のぼりを飾りました。鯉のぼりは保護者会からお借りした物、制作活動にて利用者が作成した物など、天気の良い日には様々な種類の鯉のぼりが気持ち良さそうに泳いでいます。風に揺れている姿はまさに魚が泳いでいるように見え、その様子を利用者が目で追うことで視覚的にも興味関心を広げることができています。

重症心身障害児（者）の療育や日中活動では、利用者ご本人から表出される表情や仕草などから気持ちを汲み取り、日常生活及び社会生活の支援に繋げていくことを心掛けております。これからも利用者の皆さんの笑顔を増やしていくことができるよう支援に取り組んでいきたいと思っております。



～病気を知ることから始めましょう！～

シリーズ・糖尿病—Part 3 リハビリテーション

運動療法主任 高久 藍子

今回は、糖尿病の運動療法についてお話をさせていただきます。

糖尿病の運動療法の目的は、血糖を下げることと身体活動能力の向上です。1型、2型、その他の型いずれも運動療法が適応になります。

1. 運動療法の開始

運動療法を始めるにあたっては、まず心臓や血管の病気の有無や程度、慢性合併症である末梢及び自律神経障害や進行した網膜症・腎症・整形外科的疾患などを医学的に確認する必要があります。進行した合併症がおありの方も、日常生活における身体活動量を出来るだけ低下させないようにしてください。

2. 運動の種類

運動の種類としては、ジョギングやウォーキングなどの全身を使う有酸素運動と筋力トレーニングの二つに分けられます。

3. 運動の強度と時間・タイミング・頻度

一般的に、性別・体力・合併症の有無・日常の運動状況を考慮して低強度の運動から始め、徐々に強度を上げていきます。

強度：分速80～100mの早歩きもしくは分速30～40mの遅めの歩行

時間：1回20～60分

タイミング：毎食後30～60分後（可能であればですが。）

頻度：3日間以上空けずに、1週間で3～5回程度

日常生活にうまく組み入れる場合は、通勤者であれば1駅分歩く、エレベーターは使わず階段を利用する、補助的に万歩計を利用するなど、環境設定を工夫することも大切です。

4. 注意点

- ・血糖コントロールの悪い時（特に1型糖尿病・2型糖尿病とも尿ケトン体陽性時）は運動をしない。
- ・インスリンや経口血糖降下薬（特にスルホニル尿素薬）で治療を行っている方は、運動中や運動当日～翌日に低血糖を起こすおそれがあります。特に、インスリン治療中の方は運動前の血糖値が100mg/dl未満の場合には、吸収の良い炭水化物を1～2単位(*)摂取することが望ましいです。

*1単位(80kcal)のめやす 白飯：小さい茶碗1/2程度(50g)／6枚切り食パン：1/2枚(30g)

以上のとおりですが、運動療法を始めようと考えている方は、運動前に必ず主治医に相談するようにしてください。

◆『NHO PRESS～国立病院機構通信～』のご紹介

神奈川病院は、国立病院機構(NHO:National Hospital Organization)という全国143の病院からなる国内最大級の病院ネットワークに属する病院です。

国立病院機構(NHO)という病院ネットワークが、どのようなグループでどのような活動をしているのかを紹介する『NHO PRESS～国立病院機構通信～』を年4回発行しています。病院玄関ロビーに設置していますので、ぜひ一度手にとってご覧になってください。

なお、ホームページに最新号と過去発行号を掲載していますので、そちらもぜひご覧になってください。「NHO PRESS」の文字で検索してください。



各科診療担当医表

平成29年5月1日現在

科別	曜日	月	火	水	木	金	
一般系	総合内科	小林	小林		荒木	小林	
	腎臓内科	山崎			前島		
	消化器内科	後町	鈴木(俊) 【第1、第3、第5のみ】	[予]中島 (13:30~)	後町		
	糖尿病内科			近藤 (9:00~)			
	循環器内科	内田 野村(秀)	吉田 (9:00~) 藤井	松崎	森木 神山 (9:00~)	森木	
	呼吸器内科	大久保 浅野 (9:30~)	河合	鈴木(翔) (9:30~)	布施川	大久保 浦野 (9:30~)	
	神経内科		[予]湯谷 (14:00~)			本間 (11時まで受付)	
外来系	脳神経外科	木村	齋藤	堀口 (9:30~)	小杉		
	外科		鈴木(俊) 【第1、第3、第5のみ】	前田	[予]櫻井 (13:00~)		
	消化器外科			根本 橋詰		杉浦 藤本	
	呼吸器外科						
	整形外科	数枝木 山本	山本 (装具)	野尻 (9:00~)	太田 (9:30~)	数枝木	
泌尿器科	浅沼				田野口		
皮膚科			野村(尚) (9:15~)		古市 (9:30~)		

科別	曜日	月	火	水	木	金
一般外来	小児科	萬木(晋) 石井 (9:00~)	萬木(暁) (9:00~)	佐藤 渡辺 (9:00~)	渡辺 (9:00~)	萬木(晋) 石井 (9:00~)
		[予]渡辺 (14:00~)	[予]萬木(晋) (13:30~)	[予]萬木(暁) (13:30~)	予防接種 健診 (14:00~)	
		[予]佐藤 (14:30~) 【第2のみ 15:00~】		[予]渡辺 (14:00~)	[第2、第4 のみ]	
一般外来	小児外科 【第2、4のみ】	[予]上野 (13:30~)				
	心療内科	[予]松崎 (14:00~)				
特殊外来	乳腺外来		鈴木(育)			
	てんかん外来 【第3のみ】				[予]杉山 (10:00 ~11:00)	
	睡眠時無呼吸 外来		[予]荒木 (13:00~)			
	救命救急科					
成育心身医療 外来		[予]松崎 (14:00~)				

【担当医表の表記について】

- ①括弧書き (: ~)
…診察(開始)時間
- ②【〇〇のみ】…特定の診察日
- ③【予】…予約制



※担当医表に時間の記載がある日は、記載されている時間内の診療となりますのでご確認をお願いいたします。

発行責任者：根本 悦夫 編集責任者：加藤 浩二・菊池 邦子 編集：広報委員会



独立行政法人 国立病院機構 **神奈川病院**

〒257-8585 神奈川県秦野市落合666-1
TEL 0463-81-1771 FAX 0463-82-7533
URL <http://www.kanagawa-hosp.org/>